

臨床研究の実施に関する情報公開

2021年7月14日

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターでは、臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願いします。

研究の拒否	患者さんまたは患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。
研究課題名	周術期抗菌薬適正化に向けた取り組み
研究機関名	掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター
研究責任者	看護部 山本恭子
対象者	中東遠総合医療センター外科で2014年2月～2021年4月までに、緊急手術と術前に感染症がある以外で結腸と直腸手術を施行した患者を対象としました。
当該研究の意義・目的	CDC (Centers for Disease Control and Prevention) ガイドラインはじめ、世界保健機関 (World Health Organization : WHO) ガイドラインでは術後抗菌薬は不要としていますが、当院は術後抗菌薬を投与している現状がありました。AST (Antimicrobial Stewardship Team) 介入により、2018年11月～外科手術で術後抗菌薬を終了する取り組みを行ったので、発生率が高いと言われている結腸と直腸手術の介入前後の SSI (Surgical site infection) 発生率に差があるかの検証を行うことを目的として実施します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録 (カルテ) から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 手術記録 (手術時間、ASA (麻酔スコア)、手術時間、周術期の抗菌薬投与期間、種類、投与量、開腹手術の有無、人工肛門の有無、出血量など) ● 背景因子 (年齢、性別) ● 臨床データ (糖尿病の有無、術前アルブミン値)
個人情報保護について	本研究に係る情報を取り扱う際には研究対象者の個人情報が容易に閲覧できないようにパスワードを用いて保存する。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問い合わせ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからの希望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問い合わせ先	◆ そのほか、この研究に関するお問い合わせ、苦情等がございましたら下記へご連絡ください。 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 看護部 山本恭子 電話 0537-21-5555 (代表)